

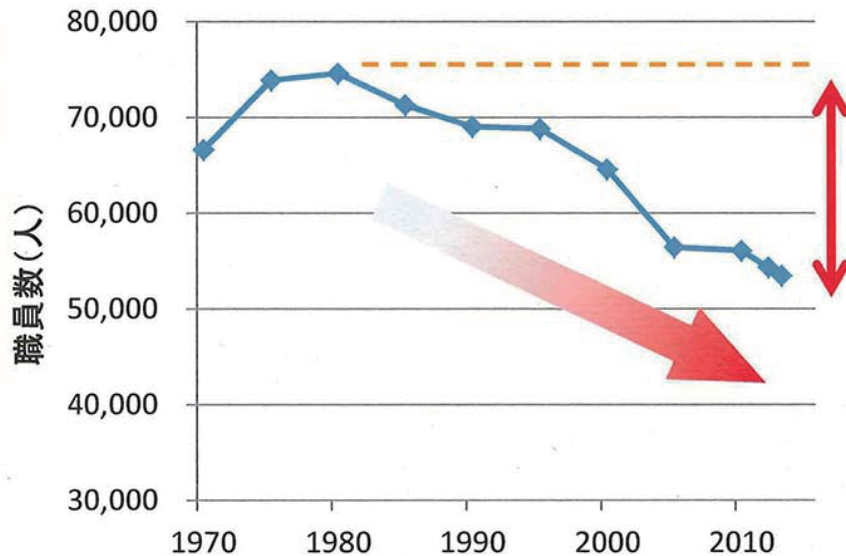
水道事業の職員数

- 水道事業に携わる職員数は、ピークと比べて3割程度減少しており、特に小規模事業者では職員数が著しく少ない。
- 今後は、経営基盤、技術基盤の強化のため、近隣水道事業との広域化や官民との連携などにより水道事業を支える体制を構築する必要がある。

水道事業における職員数の推移

職員数の減少

水道事業の職員数は約30年前に比べて約3割減少



水道事業における職員数の規模別分布

小規模事業者の職員が少ない

給水人口1万人未満の小規模事業者は、平均1~3人の職員で水道事業を運営している

給水人口	事業者ごとの平均職員数						(参考) 事業者数
	事務職	技術職	技能職 その他	合計	最多	最少	
100万人以上	338	488	133	959	3,847	348	15
50万人~100万人未満	74	111	16	201	370	115	14
25万人~50万人未満	37	65	9	111	223	35	60
10万人~25万人未満	17	22	2	41	171	13	161
5万人~10万人未満	9	10	1	20	70	4	221
3万人~5万人未満	6	4	0	11	33	3	230
2万人~3万人未満	4	3	0	8	21	1	156
1万人~2万人未満	3	2	0	5	21	1	289
5千人~1万人未満	2	1	0	3	15	1	238
5千人未満	1	0	0	1	2	1	4

※職員数は、人口規模の範囲にある事業者の平均

※最多、最少は人口規模の範囲にある事業者の最多、最少の職員数

出典:水道統計(H26)